

トライウォール
エコフィン生命の森
植林レポート2021

～Mongol Afforestation
Report 2021～

トライウォール「エコフィン生命の森」植林レポート2021

モンゴルの火災跡地を再生させるため、[NPO GNC Japan](https://www.gnc-japan.org/)の協力のもと、2007年から植林活動を行っています。

昨年に続き、新型コロナウィルス拡大の影響で日本人スタッフの渡航が叶わず、現地のGNCmongolのスタッフが中心となり植林活動が行われました。15回目となる今年は20の個人・団体に協賛いただき20,000本の植林を完了、今までの合計本数は585,400本になりました。9月に撮影された最新の画像が届きましたのでご紹介いたします。活動当初に植えた苗木は若木となり、現在では新たな森林の息吹が感じられるまでになりました。森林減少をくい止め、地球の温暖化を防ぐためにも、私たちはこれからも積極的に植林を続けてまいります。

毎年の植林報告はトライウォールグループ ウィルライフ(株)のWEBサイトをご覧ください。

<https://www.willife.com/ecoffinjp/inochinomori.html>



この植林事業に協力頂いている
GNC Japan、GNC mongolの皆さん

<https://kyouzon-gnc.com>



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



私たちはSDGs(Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)に賛同し、これからも社会の一員として責任ある行動を心がけ、実践してまいります。

トライウォールグループ ウィルライフ株式会社 <https://www.willife.com> E-mail: info@willife.com



トライウォール「エコフィン生命の森」 植林レポート2021

モンゴルは厳寒の地ですので、
植林は例年気候が安定する4-5月に行われます。
今年5月の植林時の様子をご紹介します。

植林地：モンゴル国セレンゲ県



強い日差しや乾燥から小さな苗を守るため、溝を掘ってから、1本1本手で植えています。



まずはゲルを組み立てるところから...



道中には美しい景色が



モンゴルも新型コロナの影響が強く、県をまたいで移動する際にもPCR検査が必要など、なかなか現地スタッフの方々がセレンゲ県に移動することが難しい状況が続いています。

また育苗にトライしていたのですが、育苗施設へ行くことができず2020年から育苗を断念…ですが、2019年に蒔いた苗が生存しており、2021年の植林全体の1%は、GNCスタッフ自身が育てた苗で植林されました。

このような困難ななか、NPO GNCと現地の皆さんの多大な協力のもと、この植林事業は継続されています。

